

湯沢砂防スペシャルエンジニア(YSSE)の皆さんと南魚沼市の水無川流域において現地検討会を実施しました。

10月27日(木)に、南魚沼市の水無川流域において湯沢砂防スペシャルエンジニア(YSSE)の皆さんと、既設堰堤の補修予定箇所や新規堰堤予定箇所の現場をまわり、補修方法や進入路等について意見交換を行いました。

当日は、湯沢スペシャルエンジニア13名、事務所職員8名が参加し、今後の施工方法や補修方法などについて、活発な意見交換がなされました。

<現地調査状況>

高石砂防堰堤



本堤の下流側石積欠損や魚道内の土砂堆積等が見られる高石砂防堰堤において、補修時期や補修方法などの意見を頂きました。また、若手職員に対して損傷する原因などを過去の経験から親切な説明があり、より一層の知識向上が図られるよい機会となりました。

<検討会>



現場視察の後、事務所で検討会を開き、意見交換をしました。

高石砂防堰堤は「歴史を感じさせる施設であり、本堰堤下流面の補修は、極力石材を使用する方が良い」等の意見を頂きました。

湯沢砂防事務所では、今回の現地検討会でいただいた意見などを、今後の砂防事業に活かして参ります。